

みらい図書だより

発行：東京未来大学図書館

〒120-0023 東京都足立区千住曙町 34-12 TEL：03-5813-2540 (内線 1202) FAX：03-5813-2529
URL：http://www.tokyoumirai.ac.jp//library/ 印刷：上武印刷株式会社

図書館と私

こども心理学部 副学長 塚本 伸一

思い返してみますと、人生の節目で様々な「図書館」との出会いがありました。

記憶に残る最初の出会いは、小学1、2年生の頃、生まれ育った横浜の新興住宅地にあった集会所の図書室です。自宅は、大手私鉄が高度経済成長期に開発した住宅地で、当世風の一戸建てが丘の斜面にびっしり並んでいました。とにかく家ばかり。公共的な施設は何もない。唯一、平屋建ての集会所があって、そこで週1回、図書の貸し出しをしており、これを楽しみにしていました。図書館(室)の原体験と言えるかもしれません。

次に思い出すのは、高校時代、大学の受験勉強のために通った神奈川県立図書館。県立図書館は、JR桜木駅の近く、紅葉坂という緩やかな坂を上った高台にあります。県立図書館の建物は、モダニズム建築の旗手と言われた前川國男が設計したものです。建築家にあこがれた時期があり、建物の由来は当時から知っていました。長時間過ごした自習室はうす暗い、ひんやりした空間で、大学受験の不安とともに、そのたたずまいは、未だにはっきり記憶しています。

次は、受験勉強を経て入学した立教大学の旧図書館。旧図書館

は、立教で最も古いレンガ建ての建物で、本館(教室)、チャペルとともに1919年に建てられたものです。本館を挟んで左右の正対する位置に旧図書館とチャペルが建っています。これらは、大学での学び(本館)が思索(旧図書館)と信仰(チャペル)から成り立っていることを象徴的に表しています。旧図書館は天井の高い壮麗な建物で、文献を調べる以外にも、思春期の葛藤する内面に向き合いながら、多くの時間をそこで過ごしました。

その次は、初めて専任教員として単身赴任した新潟県の上越教育大学の図書館です。上越教育大学は1978年設立ですので、図書館も新しく、機能的ではありますが何の飾り気もない殺風景な建物でした。専任の職を得たのを機に、学位取得をめざし、授業のない日はこの図書館に籠って博士論文を執筆しました。上越は豪雪地帯。冬は夜中まで執筆した後、大学の駐車場ですっぽり雪に埋もれた車を掘り出し、だれもいない宿舎に帰りました。寒かったけれど、新しい生活の希望に心は暖かでした。

今年4月から、東京未来大学に新しくお世話になることになりました。本館2階のチャーミングな図書館では、さてどんな出会いが待っているのでしょうか。



初等教育における学校図書館の現状と未来的展望

保育・教職センター 副センター長 長谷川 かほる

生活環境の変化やメディアの発達・普及などを背景に、今日的に「読書離れ」「活字離れ」が指摘されています。このような状況の中、学校現場では文科省のGIGAスクール構想のもと、一人一台の端末環境での学習が始まり、学校図書館も学習支援や読書推進の在り方など、その役割において変化することが求められています。学校図書館が従前の「読書や調べものをする場所」「図書を借りる場所」の役割だけでなく、多様な役割や機能をもつことにより、今後の初等教育の現場で、どのようなことが期待されているのかを考えてみたいと思います。

2020年度から実施されている、学習指導要領における学校図書館の位置づけについては

- ①計画的に利用し、その機能の活用を図り、児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすこと
- ②児童の自主的・自発的な学習活動や読書活動を充実することと示されています。

これらのことから、期待される学校図書館の役割は、「読書センター」「学習センター」「情報センター」の3つであると言えます。具体的な活用の仕方として、例えば国語の授業では、「読書センター」「学習センター」としての機能を生かし、図鑑や科学

的なことについて書いてある本を読み、分かったことを説明する活動を行う。社会科の授業では、情報収集やまとめをする場合に、「情報センター」としての機能を活用するなどの授業展開が考えられます。さらに学校図書館は、「読書の好きな子を増やし、確かな学力や豊かな人間性を育む。」「探究的な学習活動を行い、解決したい課題について適切な情報収集を行い、児童の情報収集能力を育む。」「授業で蔵書や新聞などを活用して、主体的・対話的で深い学びを支える。」など、児童の汎用的な資質・能力を育成する場としても、機能していると考えられます。このように学校図書館は、従前に比べ飛躍的に進化し、変化しています。一人一人の教員には、その役割を十分に理解し、それらの機能を生かす授業展開を考え、実践していくことが求められています。今後も、すべての教科領域において、学校図書館を効果的に活用し、授業構成員や学習指導力を高めていくこと、ICTとの融合を積極的に図ることを通して、児童の学ぶ意欲を喚起し、主体的・対話的で深い学びを支える実践を推進していくことが、より一層重要であると考えます。初等教育の現場では、未来的展望として図書館の役割や機能を生かし、学びの質を高めていくことが期待されているのです。

絵本あわせ

実習で使った絵本『がちゃがちゃどんどん』

こども保育教育専攻4年 柳沢 蒔季
「がちゃがちゃ どんどん」今、この音を
目にして頭の中で音が聞こえた人には、どの
ようなイメージが湧いているのでしょうか。
私が実習を行った園には、1冊の同じ絵本を
ひと月の間毎朝読む「朝絵本」という活動が
ありました。同じ絵本を毎朝？と思われるか
もしれません。しかし、子ども達は同じ絵本
でも毎日楽しそうに読み聞かせを聞いていまし
た。特に私が実習を行った期間の絵本『がちゃが
ちゃ どんどん』は様々な音とそれをイメージ
した絵を楽しむ絵本です。段々と音を覚え、
保育者との繰り返しのやりとりを楽しむ子
どももいれば、保育者の新たな音の読み方
に慣れて楽しむ子どももいました。絵本に出
てくる音を当て嵌め、毎日の遊びの幅を広
げる子どもの姿も見られました。私も朝絵本
に挑戦する機会があったのですが、どう読
んだら子ども達は楽しんだらうかと自分
なりの読み方を模索することがとても楽し
かった1冊です。



『がちゃがちゃ どん
どん』(元永定正・作
福音館書店、1990)

子育てと絵本『おつきさま こんばんは』

エンrollment・マネジメント局

熊谷 理穂

夜空に浮かぶ満月と、それを見ている2匹
の猫。シンプルな絵の中に、いくつかの感情
が交差している絵本。1歳の時の息子は、ひ
たすら満月の「こんばんは！」を、お辞儀を
しながら真似していました。3歳になった今
は、その満月を見る猫の気持ちにフォーカス
するようになり、「おつきさま、まぶしいかな？」
「久しぶりに晴れておつきさまに会えたのかな？」
と、自分以外の人や動物の気持ちを考えよ
うとしているんだなあと、息子の成長を感じ
た絵本でした。



『おつきさまこんばん
は』(林明子・作
福音館書店、1986)

子どもにとって絵本とは、言葉を学んだり、登場人物の心情を
考えたり、様々な“きっかけ”が詰まったものだと思います。そ
んな絵本と一緒に読む時間は、子ども達と気持ちを共有できると
ても温かく愛おしい時間。「まま～！次はこれよんで～！」と目
をキラキラ輝かせながらやってくる我が子と読んだ絵本の数々
は、ずっと、私の大切な宝物です。

みなさんにとって絵本とは、どのような存在ですか？

選書ツアー報告

7月21日(木)、丸善・丸の内本店オアソにて選書ツアーを
実施し、11名の学生が参加してくれました。ツアーに参加した小
國さん、工藤さんが感想を寄せてくれました。

心理専攻2年 小國ひかり

今回選書ツアーに参加させていただいて、本を選ぶのは大変
だったけれど、とても楽しかったです。まず丸善書店さんがと
ても大きく驚きました。普通の書店ではないような外国の本や絵
本がたくさんあり、見て回るだけでも面白いと思いました。本を
選ぶにあたって、学校にあったら嬉しい本をまず選びました。次
に、自分が授業の際に無くて困った本を探したり、自分の受けて
いない授業を受けていた友達が授業で必要としていた資料のこ
とを思い出したり、他学部の子がどんなことをしているのかを考
えながら本を探しました。「みんなが使える本を探そう!!」と思
い、たくさんある本の中から他の子のことも考えて本を選ぶこと
ができたため、とても良い経験をする事ができました。

モチベーション行動科学部3年 工藤 悠太

私は今回、初めて選書ツアーに参加しました。元々私は本が好
きで、大きな書店で本を選ぶことができることに魅力を感じまし
た。選書をした丸善書店さんは日本の雑誌から海外の絵本まで幅
広く取り揃えており、とてもワクワクしました。私がまず選んだ
のは、大学で使えそうな本でした。教育関係の本は種類が多くて
も困らないと思ったからです。梯子を使わないと取れないような

おすすめの1冊

先生方おすすめの1冊を紹介します！

●藤本 昌樹先生 (こども心理学部心理専攻)

『脳のなかの幽霊』

V.S.ラマチャンドラン／サンドラ・ブレイクスリー (著)／山下
篤子 (訳)、角川書店 (2011)

おすすめの1冊は、昨今の脳ブームの火付け役ともなった1冊
ともいわれている本です。この本の著者のラマチャンドランは、
10代の時に世界的に有名な科学雑誌である「Nature」に論文が
掲載された人でもあります。内容は、神経科学(脳)に関する話
ですが、非常にわかりやすく、脳の仕組みや人の意識について考
えさせられる内容となっています。この本の最も面白いところは、
ラマチャンドランが脳に障害を負って不思議な症状を示す様々な
患者さんを見て、そのメカニズムを説き明かすというところで、
推理小説のようにスリリングな内容となっています。例えば、腕
が切断されなくなった後も、自分の腕の存在を感じ、場合によ
っては痛みを感じてしまう症状(幻肢：ファントム)について、こ
のような症状が生じる理由を探偵のように推理し、シンプルで効
果的な実験を行い、そのメカニズムを紐解いていきます。現在、
この本は文庫でも発売されており、手に取りやすい本になってい
ます。脳や心のメカニズムを深く学びたい人にとってもお勧めの
本なので、興味ある方は手に取って読んでみてください。

●小林 久美先生 (こども心理学部こども保育教育専攻)

『コスメの時代—「私遊び」の現代文化論』

米澤泉、勁草書房 (2008)

ファッションやコスメをテーマに80年代から今(といっても
2008年出版)までの女性の生き方の変化を分析している内容で
す。DCブランドよりファストファッションがはやりたり、少女
が消えコギャルが誕生したり、雑誌がカタログ化したり、なぜそ
んな現象が起こったかを独自の視点から分析していて面白いと思
いました。ただのファッション史、ただのコスメの歴史ではあり
ません。ゼミの3年生と一緒に読んだのですが、学生はちょうど
自分たちの母親の若い頃の時代が80年代ということで、「だから
お母さんの考え方はこうなんだ」と興味を持ってくれました。
14年前なので、少し古いかもしれませんが、14年前から今、ファ
ッションやコスメはさらに進化してきているので、その間の変化に
ついて、この本のような視点で俯瞰してみてもいいかなと



大きな本棚から自分の教養になりそうなものを選びました。

次には自分が好きな小説家の本を選びました。本を友達に勧めることはあるのですが、本が手元にならないことが多いので、図書館があればもっと気軽に勧められると思ったからです。あまり一般の書店には陳列していない本でしたが、見つけることができました。本を読まない人が多い中でこうした本に触れ合える時間は貴重だと思いました。自分が選んだ本が図書館に入荷するのがとても楽しみです。



機材の説明をきく参加者
丸善・丸の内本店にて

身ともに複雑な時期にいる生徒たちをサポートするため、「応用編」では気になる子どもへの配慮、けがの応急処置、こころの不調への対応などを扱っています。さまざまな人に手にとってもらえるよう、イラストや図を用いて分かりやすくまとめています。現在部活動に関わっている人、将来関わる可能性がある人、多くの皆さんに読んでいただきたいです！

郭 潔蓉先生（モチベーション行動科学部）

『ベーシック経営学』【共著】（ムイスリ出版、2022）

本書は、経営学をはじめ学ぶ大学生や社会人の皆さんを対象に、専門分野の異なる5名の研究者で書き上げました。「初心者でも経営学を身近に感じられる」専門書が本書のコンセプトです。本書の大きな特徴は、経営における組織・戦略・市場・人材・情報・財務の各方面を体系的に捉えている点です。この1冊を読破してもらえると「経営学とは何か」の全体像が描けるように構成しました。ぜひ、まずは「サマリー」から読んでみませんか？

三浦 卓己先生（モチベーション行動科学部）

『ゼロからの消費者行動入門』【単著】（現代図書、2022）

本書は、2021年に出版された拙著『ゼロからのマーケティング入門』のシリーズ版です。消費者行動に関する知識、興味関心、意欲ゼロの大学生が、最終的には探究心に駆られ、生涯にわたって学び続けたいと思うような心の根っこを張ることを期待して執筆しました。消費者行動を学ぶ上で押さえておきたい理論と遊び心ある事例で理論と実戦を架橋します。学生には読むだけでなく、実際に事例の場所に足を運び、その異同を肌で感じてほしいです。

鈴木 亮太先生（保育・教職センター）

『社会科を中心に学びの「本質」を問う』【共著】（日本文教出版、2022）

教師が子どもたちに向き合う際に、物事の「本質」をしっかりと掴むことは、極めて重要なことだと考え、この本を出版しました。例えば、教師そして子どもたちが、社会科の「本質」を掴むことができれば、教師にとっては「多忙感」が減り、子どもたちにとっては「学習意欲」が喚起されるのではないのでしょうか。学生の皆さんには、本書を通して、物事の「本質」（何を基に、何を指してなど）をしっかりと掴み、どう実践すべきなのか、問いをもちながら読んでほしいと思います。

著者に
聞いてみました。

新刊紹介

2022

①本のコンセプトについて、②学生に読んでほしい点について、著者に聞いてみました。

藤後 悦子先生（こども心理学部心理専攻）

『社会的子育ての実現』【共著】（ナカニシヤ出版、2022）

子どもが育つには多くの人の温かい手が必要だと実感し、「社会的子育て」を取り上げています。社会的子育ての実現のために、まだ専門職の配置が少ない保育の現場から、カウンセリング、ソーシャルワークの必要性について述べています。心理学に興味がある学生には、保育現場という魅力に触れてほしいと思います。保育に興味がある学生は、カウンセリングやソーシャルワークの視点を取り入れることで、より重層的な支援が可能であることを理解して頂きたいと願っています。

井梅由美子先生（こども心理学部心理専攻）

『部活動指導員ガイドブック 応用編』【共著】（ミネルヴァ書房、2022）

本書は「部活動指導員」を目指す人に向けたテキストです。心

● 中澤 純一先生（モチベーション行動科学部）

『社会科における多文化教育—多様性・社会正義・公正を学ぶ—
森茂岳雄、川崎誠司、桐谷正信、青木香代子（編著）、明石書店
(2019)

「多文化教育」を端的に表せば、様々な文化を有する人々の多様性や差異性を理解し、受け入れ、尊重しようとする教育の取り組みと行うことができます。今日のグローバル化の進展に伴い、国境を越えた人々の往来が増加することと連動して、一国内・一地域の多文化化が進行しています。このような多様化する世界の中で、異なる文化を持つ人々が、互いの文化や価値観の違いを認め合い、尊重し対等な関係を築く多文化共生が昨今求められています。本書では、多文化教育における理論的展開の背景や現代的課題をおさえた上で、日本の学校教育における社会科での多文化教育の授業開発と実践が収録されています。例えば、小学校の授業実践では、「戦争孤児・中国残留孤児の経験から戦争について考える歴史教育実践」、中学校では「刺青拒否から文化的多様性を考える地理授業実践」、高等学校では「国籍法違憲訴訟から外国人の子どもの人権を考える公民科授業実践」など、多校種に渡って多くの授業実践が掲載されています。学校教員を目指す方は、一読することをお勧めします。

● 齋藤 結先生（エンロールメント・マネジメント局）

『こすずめのぼうけん』 ルース・エインスワース著／石井桃子訳、
福音館書店（1976）

幼い頃、毎日のように絵本を読んでもらっていたのですが、その中でも一番印象に残っているのがこの絵本です。こすずめはお母さんすずめに飛び方を教わるのですが、飛べるようになっておもしろくなったこすずめが遠くまで飛んでしまい、お母さんすずめとはぐれてしまいます。何とか、お母さんすずめの元に戻ろうと奮闘する姿は、何度見ても涙が出てきます。たくさんの鳥と触れ合いながら自分の力で前に進む姿を見ると、自分も頑張らなければ。そう感じます。最後には、お母さんすずめと会うことができるのですが、心がじんわりとあたたかくなります。

絵本は、幼い頃に読んだ時と、大人になってから読むと感じ方が変わってくるのが面白いところだと思います。この絵本も、幼い頃は「すずめがかわいい」「次はどんな鳥と会うんだろう」とワクワクしながら読んでいました。読み返すと、自信を持って一歩踏み出すこと。先の見えない不安なことでも、いつかは出口が見えることを教えてくれる。いつまでも、私を勇気づけてくれる絵本です。

👑 電子書籍アクセスランキング (2022/1/1 ~ 8/31)

順位	書名／著者名、出版社、出版年	登録番号
1位	公認心理師・臨床心理士大学院対策鉄則10& サンプル18 研究計画書編／渋谷寛子・宮川純・河合塾KALS、講談社、2018	e00000439
2位	レジリエンスは身につけられるか一人差に応じた心のサポートのためにー／平野真理著、東京大学出版会、2015	e00000205
3位	子どもの心を診る医師のための発達検査・心理検査入門／橋本浩、中外医学社、2017	e00000330
4位	心理学 新版 (New liberal arts selection) ／無藤隆・森敏昭・遠藤由美、有斐閣、2018	e00000232
4位	臨床心理学ー「生きる意味」の確立と心理支援ー／久留一郎・餅原尚子、八千代出版、2019	e00000332

👑 図書貸し出しランキング (2022/1/1 ~ 8/31)

順位	書名／著者名、出版社、出版年	請求記号
1位	そらめくんのベッド／なかやみわさく・え、福音館書店、1999	726.6/NA
1位	心理学検定基本キーワード／日本心理学諸学会連合心理学検定局編、実務教育出版、2015	140.7/NI
1位	六人の嘘つきな大学生／浅倉秋成、KADOKAWA、2021	913.6/AS
4位	こんとあき／林明子、福音館書店、1989	726.6/HA
4位	心理学検定一問一答問題集 A領域編／日本心理学諸学会連合心理学検定局編、実務教育出版、2016	140.7/NI/1
4位	心理学検定一問一答問題集 B領域編／日本心理学諸学会連合心理学検定局編、実務教育出版、2016	140.7/NI/2
4位	心理学検定公式問題集 2020年度版／日本心理学諸学会連合心理学検定局編、実務教育出版、2020	140.7/NI/2020
4位	くれよんのくろくん／なかやみわさく・え、童心社、2001	726.6/NA
4位	へんしんマラソン／あきやまただし作・絵、金の星社、2005	726.6/AK
4位	キャベツくん みるみる絵本／長新太文・絵、文研出版、2009	726.6/CH
4位	心理学検定公式問題集 2022年度版／日本心理学諸学会連合、実務教育出版、2022	140.7/NI/2022
4位	はじめてのおつかい／筒井頼子さく 林明子え、福音館書店、1977	726.6/HA
4位	からすのパンやさん／加古里子絵と文、偕成社、1973	726.6/KA/7

～請求番号を載せましたので、興味のある方は是非お読みください。～

図書館からのお知らせ

▶ ボローニャ世界の絵本展「赤ちゃん絵本」

日時：12月5日（月）～12月23日（金）12：00

図書館開館時間内

毎年、本学図書館で行っているボローニャ世界の絵本展を今年も開催いたします。今回は世界の赤ちゃん絵本を展示します。こちらの絵本展では、世界のさまざまな国の絵本を実際に手にとって、見る事ができます。写真は昨年の「世界に紹介された日本の絵本展」の様子です。言葉は分からなくても絵を見て楽しめるのが絵



本展では、世界のさまざまな国の絵本を実際に手にとって、見る事ができます。写真は昨年の「世界に紹介された日本の絵本展」の様子です。言葉は分からなくても絵を見て楽しめるのが絵

本のよいところですね。ボローニャ絵本展で展示している世界の絵本は、ボローニャから友好都市である板橋区に寄贈され、いたばしボローニャ絵本館に所蔵されているものです。この機会に、ぜひ、世界の絵本を見にいらしてください。

▶ 絵本作家・木村裕一さん講演会「絵本が子どもに与えるもの」

日時：12月21日（水）13：10～14：50

場所：東京未来大学

(詳細はポスターにて掲示します。)

『あらしのよるに』や『いないいないばああそび』などの人気絵本を生み出してきた絵本作家・木村裕一さんの講演会を行います。読み聞かせの実演も交えながら、絵本が子どもたちに与えるものや、創作についてなどを語ってください。皆さま、ぜひ、ご参加ください。



『いないいないばああそび』
(木村裕一・作 偕成社、1989)

編集後記

一昨年、昨年はコロナの影響のため、図書館の運営にもさまざまな制限がありましたが、少しずつ、以前行っていた活動ができるようになってきました。図書館の開館時間も以前と変わらない程度に戻ってきています。皆さん、ぜひ図書館に足を運んで、充実した学生生活にお役にたください。発行にあたり、ご協力をいただきました皆様に御礼申し上げます。(N & I)